

Please join us !

OSAKA 大阪おおさかの街

— for the city of Osaka —

自分自身の事として考える福祉社会

大阪府社会福祉協議会

福祉人材センター

人生80年時代、日本人の生活が豊かになったことを表す言葉の一つです。これまでにない社会へ変化してゆく中で、新たな問題も発生しています。超高齢化社会にどう向き合ってゆくか、誰もが直面する課題です。

福祉の基本「人に役立つこと」

広辞苑には「福祉」とは「幸福。公的扶助やサービスによる生活の安定・充足」とあります。英語では welfare と訳されます。well(良い)とfare(暮らす)からなる「良い暮らしが成り立つ事」という意味で使われる言葉です。

歴史を振り返ると、公的な福祉制度が整備されていない時代には、自ら身体的・社会的弱者と関わり、「人に役立つこと」を実践した人々がいました。彼らパイオニアたちの献身が、現在の充実した福祉社会を築き上げてきたと言えます。奈良時代、聖徳太子は貧窮者、病人、孤児などを救済するために、四天王寺に悲田院を作りました。行基は農民と共にかんがい事業を行うだけでなく、行き倒れた旅人を救う布施屋を創設したと言われています。

近代では、シャープの創業者早川徳次氏が、福祉政策が十分に整備されていない時に、障がい者が働く職場や施設をつくり社会参加への道を拓きました。その行動は、ソニーの井深大氏、ホンダの本田宗一郎氏、オムロンの立石一真氏、田島製作所の田島宏一氏など企業創業者たちによる障がい者雇用につながってゆきました。

地域福祉を担う社会福祉協議会

人は社会の中で生きる存在です。第一線からリタイアした後の第二の人生を全うするうえで、地域福祉と関わりを持ってゆくこととなります。

全国47都道府県の社会福祉協議会は、地域福祉の充実のため、様々な活動をおこなっています。明治41年に設立された「中央慈善協会」に始まる、100年の歴史を持つ民間団体です。初代会長は日本の資本主義の祖・渋沢栄一氏です。

全国、都道府県、市区町村と地域区分ごとに



福祉の就職総合フェア2009 in OSAKA
7月4日開催 於：インテックス大阪

設置されており、それぞれの組織が対象地域に応じた役割を担います。都道府県・指定都市社会福祉協議会は、福祉活動・事業等の企画、実施 福祉活動への住民参加の促進、ボランティア活動の振興 社会福祉事業等の組織化・連絡調整および経営に関する支援 社会福祉の人材確保、養成・研修事業 判断能力にハンディキャップのある人の福祉サービス援助に関する事業 福祉サービス苦情解決事業 福祉資金等の貸付事業 地域福祉活動財源の確保および助成と、主に事業者の支援と人材育成、啓蒙活動を担っています。

各都道府県の社会福祉協議会には福祉人材センターがあり、福祉に関わる職場で働きたい人と事業者との橋渡しや、雇用のための条件整備などをおこなっています。

再認識されるホスピタリティの大切さ

日本の高齢者（65歳以上）の全人口に対する割合は1975年に7%を越え、1990年代には高齢者人口が15歳未満人口より多くなりました。戦後間もない1950代に制定された老人福祉法だけでは対応しきれない問題も生まれ、2000年に介護保険法が制定されました。高齢者介護に関する社会制度の整備が進められ、施設の充実は図られました。ホームヘルパーの圧倒的な不足という課題は残りました。ホームヘルパーは医師や看護師らと連携して、介護サービスや家事援助サービスを提供します。訪問介護、訪問入浴、訪問リハビリ、居宅療養管理指導などの要介護者宅での訪問介護の他、デイサービス、デイクエア、ショートステイ、グループホーム（認知症の方のための施設）、有料老人ホームでの介護、さらには、福祉用具の貸与・購入や住宅改修の相談、ケアプランの作成など、福祉の第一線の仕事です。

2008年10月1日時点で、大阪府の高齢化率は21・2%。まさに、5人に1人が高齢者です。福祉に携わる人手の不足が慢性化している現状について、大阪府社会福祉協議会福祉人材センターの宮崎浩所長に伺いました。

同センターでは、若年層の就業を増加のための施策として、福祉就職フェアを開催しています。福祉の仕事の種類や仕事内容を学生や一般求職者に対する説明会で、年に4回、インテックス大阪等を使う大規模なイベントです。7月のフェアには、235の事業所が参加し、2423名の入場者がありました。他にも、現場での仕事を体験できる職場体験事業も実施しています。合計日数が10日間以内であれば、複数の事業所で業務体験ができるので、多くの求職者が利用しています。（制度を利用するには登録が必要です。詳しくは福祉人材センターにお問い合わせ下さい）

高校での福祉に関する講演会も開催しています。「福祉の職場に勤めている方の体験談や、障がい者福祉の先駆者である石井亮一の妻・筆子の生涯を描いた映画『筆子その愛』の上映を通じて、福祉が、人と人とのふれあいの中で喜びを感じる事ができる、やりがいのある仕事である事を伝えていきます。」と、宮崎所長。また、誰もが安心して暮らしてゆく事ができる社会を作る大切な仕事である事とともに、本年度の介護報酬の改定、今後の介護ニーズの増加など、正確な情報の伝達を心がけているとのことでした。



福祉の第一線の仕事、介護福祉士

いわゆるサービス業だけでなく、多くの産業でホスピタリティの重要性が謳われるようになりました。ヒトが本当に求めるのは、効率や機能ではなく、「相手を大切に思う気持ち」であることが、改めて認識されて来たのではないでしょうか。本記事が、人生の先輩と関わり、自身も成長出来る福祉の仕事に関心を持って頂く一助となることを願っています。

大阪府社会福祉協議会 福祉人材センター

大阪市中央区中寺1の1の54

電話06・6762・9020

<http://www.osakafusyakyu.or.jp>

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞